

【消費生活用製品安全法に基づくトヨタミからの報告】

■重大製品事故一覧

■重大製品事故一覧					更新日	2022年3月16日 (令和4年)	
管理番号	事故発生日	製品名	機種・型式	事故概要	公表日	被害状況	発生場所 〇〇県
A200801150	2009年1月8日 (平成21年)	石油給湯機付ふろがま	BSF-4500(F)	家のプレーカーが落ちたので確認すると、当該機器の前方下部と横から炎が出て、消火した。当該製品下部のリモコンコード等の配線が集中している箇所の焼損が著しいが、配線類には短絡痕は認められないため、出火の原因の特定には至らなかった。	2009年1月22日 (平成21年)	火災	北海道
A200801208	2009年1月27日 (平成21年)	石油ストーブ(開放式)	KSA-105G	当該機器がある室内に入ると、煙が充満していたため換気をしていたら、7名が体調不良となった。当該製品の排気口及び燃焼筒に煤が付着していたことから、消火した際に芯が完全に下がらずに不完全燃焼をおこした可能性は考えられるが、消火時の状況が不明であることから、事故の原因の特定には至らなかった。	2009年2月2日 (平成21年)	CO中毒	鹿児島県
A200900130	2009年5月15日 (平成21年)	石油温風暖房機(密閉式)	FF-356	当該製品を使用していたところ、異音とともに発煙・発火し、周辺が焼損する火災が発生した。製品内部の電源コードが断線しており、断線部からの出火が疑われるものの、断線原因の特定には至らなかった。	2009年5月16日 (平成21年)	火災	北海道
A200900442	2009年9月4日 (平成21年)	エアコン(窓用)	TIW-187R	当該製品を使用し就寝中、製品内部からの出火と考えられる火災が発生し、消火する際に1名が軽傷を負った。当該製品及び周辺を焼損した。製品内部の右側下部にある制御基板上の電気部品が焼失しており、その付近から出火したものと推定されるが、原因の特定には至らなかった。	2009年9月4日 (平成21年)	火災	神奈川県
A200900582	2009年10月13日 (平成21年)	石油ストーブ(密閉式)	FF-356	火災が発生し、現場に当該製品があった。製品下部の定油面器周辺が激しく焼損しており、そこで灯油漏れが発生し引火したものと推定されるが、原因の特定には至らなかった。	2009年10月19日 (平成21年)	火災	北海道
A200900921	2009年12月27日 (平成21年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-106	当該製品を点火し、部屋を離れ、しばらくして戻ったところ、当該製品から出火していた。燃焼筒ガラスに煤の付着が認められ、芯の噛み込み等により異常燃焼を起こした可能性が考えられるが、製品の保存状態が悪く原因の特定には至らなかった。	2010年1月23日 (平成22年)	火災	福岡県